

安来スマートインターチェンジ（仮称）

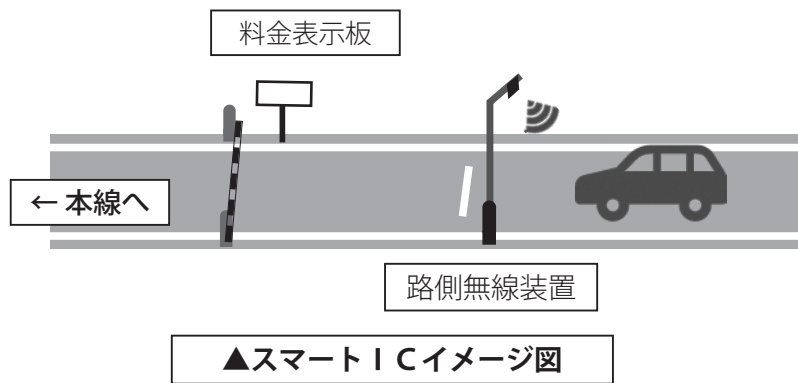
新規事業化が決定

市内外へのアクセス性向上と新たなまちづくり

産業の発展と命を守る道路網の形成

市では、一般国道9号（安来道路）の位置にスマートインターチェンジ（以下「スマートIC」）を設置する取り組みを進めてきました。その結果、令和6年9月6日にスマートICの新規事業化が決定し、9月25日に連結許可書の伝達式を行いました。

今後は国・県・西日本高速道路株式会社・市等関係機関が連携し、関係者のご理解を得ながら、供用開始に向けて事業を進めていきます。



スマートICって何？

安来市に2つもインターチェンジが必要？

高速道路への接続箇所が増えるとアクセスの選択肢も増え、目的地への移動時間の短縮につながります。

また、災害時等には複数の経路が確保され、安全安心にもつながります。

なぜその場所に？

スマートICの設置検討に当たり、住民生活面、観光面、物流面、経済性などさまざまな観点で比較検討を行いました。その結果、今回整備を予定している総合文化ホールアルテピア周辺の設置位置が最適地として選定されました。詳細な位置や構造は今後着手する測量や詳細設計で決定します。

どんなスマートICになるの？

現在計画しているスマートICの概要は次のとおりです。

▼路線名 一般国道9号（安来道路）（安来IC⇄東出雲IC間）

▼接続形式 本線直結型

▼形式 全方向

▼運用形態 ETC搭載車両全車種 24時間通行可能





(左から青木参議院議員・丸山島根県知事・堂故国土交通副大臣・田中市長)

令和6年7月23日

▶関係省庁へ要望活動

事業化決定まで

スマートICの設置は、関係機関による要望活動や期成同盟会の結成、各会議を重ね、事業化が決定しました。

令和5年8月23日▼仮称安来スマートインターチェンジ建設促進期成同盟会を設立

令和5年9月8日▼準備段階調査箇所決定

令和5年11月2日〜令和6年6月24日▼第1〜3回準備会開催

令和6年7月11日▼第1回地区協議会開催

令和6年9月6日▼新規事業化が決定

令和6年9月25日▼連結許可書伝達式



スマートICの整備効果は？

①新たなまちづくりの推進
市は新しいまちづくりを進めており、スマートICを整備することで高速道路へのアクセス性向上を活かした「人が集まる」まちづくりを推進します。

②観光振興の推進
移動にかかる時間が短縮され、観光施設への滞在時間や立ち寄り先の増加が見込めることから、観光施設への集客効果の向上が期待されます。

これから進め方は？

これまでは事業主体が安来市でしたが、今回の事業化決定により西日本高速道路株式会社(通称・NEXCO西日本)と安来市が一緒に事業を進めていきます。

今後も地権者の皆さんや地元関係者の皆さんと協議を重ね、ご理解をいただきながら丁寧に進めていきます。

事業の進み具合は市ホームページで随時情報発信するほか、広報やすぎでもお伝えしていきます。

問い合わせ 土木建設課 23-33322

いつから使えるの？

今後、現地の測量や詳細設計を実施し、その後に用地提供のお願いをする予定です。その後工事に着手しますが、工事も長期になると予想されるので供用開始は現段階は未定です。

安来スマートインターチェンジ (仮称) 連結許可書伝達式

国土交通大臣(代理:松江国道事務所長)から田中市長へ連結許可書が手渡されました

